

Proceedings of the Japan Academy, Ser. B の論文原稿を作成される際、文献の書き方については Instructions to Authors のほか、以下の点に御留意いただけるようお願いいたします。

1 本文に文献番号を記載する場合

本文中にて引用する順に文献にアラビア数字で番号を振る。番号と閉じ括弧は上付にする。

- ・ 1 文献 1 番号を基本とし、同一文献の引用は同じ引用番号とする。
- ・ コーテーションマーク(’’)の後、コロン(:)セミコロン(;)の後に文献番号を入れる場合の書き方

Ex. 1) “attosecond phase modulator (APM).”^{49), 50)}

3 点以上の文献を引用する場合の書き方

Ex. 2) Also refer to recent issues of the journal.²⁰⁾⁻²²⁾

Ex. 3) Also refer to recent issues of the journal.^{18), 20), 21)}

Ex. 4) Also refer to recent issues of the journal.^{18), 19), 21)-23)}

(この場合、文献番号 18, 19, 21, 22, 23 を引用していることを表す)

引用文献は番号の降順に並べ、論文末に掲載する。

2 文献リスト作成方法

論本文終了後、References とタイトルをつけ、リストを作る。その際、

- ・ 論文中に引用順に振った上付き番号と一致させたアラビア数字の半角を用い、半括弧「」をつけて閉じる。リスト中においては引用番号の数字を上付きにはしない。
- ・ 同番号中で複数の文献を引用するときは枝記号 a), b), c) … を付け、セミコロン(;)で区切る。改行はしない。
Ex. 5) a) Tamao, K., Ishida, N., Tanaka, T. and Kumada, M. (1983) Hydrogen Peroxide Oxidation of the Silicon-Carbon Bond in Organoalkoxysilanes. *Organometallics* **2**, 1694–1696; b) Tamao, K. and Ishida, N. (1984) Silyl Groups Synthetically Equivalent to the Hydroxy Group. *J. Organomet. Chem.* **269**, C37–C39; c) Tamao, K., Kumada, M. and Maeda, K. (1984) Hydrogen Peroxide Oxidation of Alkenyl(alkoxy)silanes. *Tetrahedron Lett.* **25**, 321–324.
- ・ 同じ文献中の論文を引用する際、文献名、著者名を省略しない。ibid、ダッシュは使わない。and は & にしない。
- ・ コンマの要・不要
(同一著者の姓名の境、また著者と著者との間にはコンマを入れるが、and や *et al.*の前には入れない、また巻(号)数の前にも入れない。)

Ex. 6) Ohmori, K., Sato, Y., Nikitin, E. E. and Rice, S. A. (2003) *Phys. Rev. Lett.* **91**, 243003.

× Ex. 6) Ohmori, K., Sato, Y., Nikitin, E., E., and Rice, S. A. (2003) *Phys. Rev. Lett.*, **91**, 243003.

学術定期(不定期)刊行物

- ・ 学術誌名は略して記載する。常に最初を大文字にし、ピリオドを付すこと。
- ・ 定期学術誌の巻数は数字のみを、**ボールド(太字)**で記載する。号数はボールドにしない。
- ・ 文献書籍の著者が10人を超えるときは、*et al.* (イタリック体を使用のこ)を用いて省略する。ただし全著者が11人のときは残り1人を略さず、11人全員の名前を記載する。
- ・ 和文誌名引用方法…和文ローマ字記載 (あれば欧文誌名)

Ex. 7) Onishi, H. (1990) Was nipponium rhenium? *Kagaku to Kogyo (Chemistry and Chemical Industry)* **43**, 1717.

- ・ オンライン版で掲載されている場合、少なくともDOIを記載すること。

Ex. 8) Lin, J.F., Jacobsen, S.D., Sturhahn, W., Jackson, J.M., Zhao, J. and Yoo, C.S. (2006) *Geophys. Res. Lett.* **33**, L22304, doi:10.1029/2006GL028099.

定期刊行物

著者の姓(すべて記載)、名(頭文字のみを大文字で記載後ピリオド)(発行年)誌名. 巻(号)数, ページ始-終.

Ex. 9) Hosoki, R., Yanagisawa, M., Onishi, Y., Yoshioka, K. and Otsuka, M. (1998) *Eur. J. Pharmacol.* **341**, 235-241.

論文タイトルがある場合、発行年の後に記載しても良い。この場合

著者の姓, 名(発行年)論文タイトル, 誌名. 巻(号)数, ページ始-終.

Ex. 10) Yamakawa, T. (2005) Studies on erythrocyte glycolipids. *Proc. Jpn. Acad., Ser. B* **81**, 52-63.

論文タイトルは最初の1文字のみ大文字、後は(固有名詞その他例外を除き)小文字で記載すること。

不定期刊行物

著者の姓, 名(発行年)誌名. vol.(または no.)巻(号)数, ページ始-終.

Ex. 11) Shibata, Z. (1940) On nipponium. *Kagaku Gaho*, no. 10, 24–27.

単行書籍

- ・ 書籍名の単語は前置詞を除き、常に大文字で記載する。

- ・ 引用箇所がその書籍1冊全体に渡る場合、開始終了ページ数の記載は必要ない。
- ・ 出版地が複数存在する時、New York – Tokyo のようにハイフンで繋ぐ。

編者なし

著者の姓, 名(発行年)書籍名. 出版社, 出版地, p.ページ (pp.ページ始-終).

Ex. 12) Noyori, R. (1994) *Asymmetric Catalysis in Organic Synthesis*. Wiley, New York.

Ex. 13) Goldschmidt, V.M. (1954) *Geochemistry*. Clarendon Press, Oxford, p. 645.

Ex. 14) Lindower, P.D. and Skorton, D.J. (1992) *High-dose Cancer Therapy*. Williams and Wilkins, Baltimore, pp. 507–517.

著者 = 編者

著者の姓, 名(ed(s.)) (発行年)書籍名. 出版社, 出版地, p.ページ (pp.ページ始-終).

Ex. 15) Abel, E. W., Stone, F.G.A. and Wilkinson, G. (eds.)(1995) *Comprehensive Organometallic Chemistry II*. Vol. 7, Pergamon, Oxford.

著者 編者

著者の姓, 名(書籍発行年) *In* 書籍名(ed(s).編者名). 出版社, 出版地, p.ページ (pp.ページ始-終).

In はイタリック体 *In* にすること

Ex. 16) Sugimura, T., Nagao, M. and Wakabayashi, K. (2000) *In Food Borne Carcinogenesis: Heterocyclic Amines* (eds. Nagao, M. and Sugimura, T.). Wiley, New York, pp. 349–359.

その他

議事録、会議録

作成者の姓, 名(発行年)議事録タイトル. 会議名, 開催地, 開催年(ed(s). 編者名), 議事録の出版社, 出版地, p.ページ.

Ex. 17) Kawaji, S. and Wakabayashi, J. (1981) Temperature dependence of transverse and Hall conductivities of silicon MOS inversion layers under strong magnetic fields. *Proc. Oji Int. Symposium, Hakone, 1980, Physics in High Magnetic Fields* (eds. Chikazumi, S. and Miura, N.), Springer, Berlin, pp. 284–287.

掲載決定論文

著者の姓, 名(掲載決定年)掲載決定論文(状態).

Ex. 18) Muto, T., Okazaki, I. M., Yamada, S., Tanaka, Y., Kinoshita, K., Muramatsu, M., Nagaoka, H. and Honjo, T. (2006) *Proc. Natl. Acad. Sci. USA* (in press).

他誌に投稿中・投稿予定論文、未発表論文

投稿中・・・(submitted to 誌名)、投稿予定・・・(to be submitted)、未発表・・・(private communication)

Ex. 19) Katsuki, H., Chiba, H., Meier, C., Girard, B. and Ohmori, K. (submitted to *Science*).

Ex. 20) Hosaka, K., Chiba, H., Katsuki, H. Shimada, H. and Ohmori, K. (to be submitted).

Ex. 21) Kosloff, R. (private communication).

単一論文中でこの種の文献を多用する事は避ける。

学位論文

著者の姓(すべて記載), 名(頭文字のみを大文字で記載後省略しピリオド)(発行年)論文名, 論文の種類, 学位取得機関.

Ex. 22) Sato, S. (1987) *Oscillatory boundary layer flow and sand movement over ripples*. Dr. Eng. Dissertation, Univ. of Tokyo, Japan.

最後に

過去の本誌での文献記載方法を参考に修正することがありますのでご了承下さい。